

# 無事故・無災害達成誓う

網走道路整備事業協組

## 除雪業務安全大会を開催



れた上で、「シーズンに突入すれば、一日に六十台もの車両が稼働する。点検整備を怠らないことはもちろん、道路形状や工作物などの有無をしっかりと再確認して」と呼びか

### 【網走発】網走道路整備

けた。

事業協同組合（理事長・笠谷俊一 網走工業㈱社長）は二十日、網走市内のオホーツク文化交流センターで除雪業務安全大会を開催した。写真。除雪シーズンを間近に控え、無事故・無災害で業務を遂行する決意を新たにしました。

また、「地域の安全・安心を守るという社会的責任がある。技術と豊富な経験をもって業務を遂行」することの重要性を説くとともに、そのためにも「発注者とのコミュニケーションの深化が不可欠」であることを強調した。

大会には組合員各社から経営トップや作業員、発注者、来賓など四十人余りが参加した。

冒頭、笠谷理事長があいさつ。近年、暴風雪や局地的な豪雪に見舞われるといった気象状況の変化にふ

来賓では、網走建管事業課の中山秀紀課長が登場。「道路の維持管理は一年三百六十五日、休むことのない大変な業務だが、とても重要」と、過酷な環境下で作業に当たっている組合員に感謝の言葉を述べた。そ

の上で、「油断や慣れに起因する事故に気を付けて。初めて機械に乗った気持ちをお忘れず、交通安全に努めてもらいたい」と訴えたほか、交通規制への対応を求めた。

このあと、網走警察署の宇賀好裕交通係長を講師に招き、交通安全講話を行ったほか、事業課の担当主査が注意事項を説明。参加者代表が声高らかに安全宣言し、最後に津別建設㈱の野口謙一社長があらためて無事故・無災害での業務遂行を要請し、大会を締めくくった。

## 各企業等の社会